

# シラバス

科目名	課題研究	単位数	3単位	学年・学科	3学年 全学科	展 開	必 修
教科書名				副教材名			
科目の目標	(1) 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互 に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、 科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的 かつ協働的に取り組む態度を養う						
学習内容と進め方	調査研究実験：商業科に属する科目で学んだ内容に関連した内容から調査・研究・実験を取り入れる。興味・関心、進路希望等に応じて各分野に関する課題を設定し、課題の解決策を探究する学習活動を行う。 作品制作：商業科に属する科目で学んだ内容に関連した作品制作について、商品の企画と開発、広告の制作、商品パッケージのデザイン、観光ガイドブックの制作、事業計画書の作成、WEBページの制作など、興味・関心、進路希望等に応じた学習活動を行う。 職業資格：商業科に属する科目で学んだ内容に関連した職業資格に関する知識、技術など総合化を図る学習活動、職業資格を必要とする職業に関する課題を探究する学習活動を行う。						
学習の留意点	・調査・研究・実験…主体的に課題を設定し、インターネットを活用するだけでなく、アンケートや実地調査、関連する企業等への取材やインタビューなどを積極的に行うこと。 ・作品制作…主体的に課題を設定し、関係する企業と連携を取ること。その際、企業の方に対しての礼儀やマナー、コミュニケーションを積極的に取ること。企業へ積極的にPRするための資料を用意すること。 ・職業資格取得…主体的に課題を設定し、専門的な上級資格取得のための学習方法の確立および関連する企業に対する取材などを実施すること						
月	単 元	予 定 時 数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）
				1	2	3	
4	1. オリエンテーション ・課題研究の意義 ・課題設定及び班編制	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の意義を理解し、課題の構成内容により、自ら課題を設定し、学習意欲を高める。</li> <li>希望進路や興味・関心に合った適切な内容の課題を設定する。</li> <li>インターネット、新聞、講話等を通して、主体的に課題を設定し、計画を立案する。</li> <li>2～3名の班編成を行い、班内で研究テーマを設定する。</li> </ul>		○	○	月別活動レポート ※各月に活動した内容をレポートにまとめる
	2. セルフマネジメント	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルやセルフマネジメントなどを通して、目標達成に必要な技法を学ぶ</li> </ul>				
5	3. 学習計画の立案	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習計画表」の作成</li> </ul>		○	○	月別活動レポート
6	・目標設定		<ul style="list-style-type: none"> <li>※研究テーマの設定にあたっては班内で十分な討議を行う。</li> </ul>		○	○	学習計画表
7	・学習計画作成 ・レポートの記入方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>①課題はビジネスに関する内容</li> <li>②実際の・体験的な学習を取り入れた課題を設定する。</li> </ul>	○	○	○	月別活動レポート
	4. 目標達成に向けた学習活動	40	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>調査・研究活動 作品制作活動 職業資格取得</b></li> <li>※メンターとなる教員に報告、連絡、相談を行い、主体的に活動に取り組む。PDCAサイクルを意識し、修正や内容の見直しを行う。</li> </ul>				
	5. 課題研究中間報告の準備 中間報告レポートの作成	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>※商業科目の教科書や参考書、書籍、アンケート、インターネット、企業訪問、企業への提案などを取り入れ、調査研究・作品制作・職業資格における課題解決に向けて取り組む。</li> </ul>				
8	6. 課題研究中間報告	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間レポートの作成</li> </ul>		○	○	中間レポート
9	7. 中間報告を受けて、課題の修正・見直し	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>※年度途中の成果を確認するためにこれまでの研究成果を報告書としてまとめる。</li> </ul>		○	○	月別活動レポート 相互評価表
	8. 目標達成に向けた学習活動	30			○	○	月別活動レポート
10	9. 課題研究発表に向けた取組	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成レポート作成</li> <li>・プレゼンテーション作成</li> <li>・課題研究発表会</li> </ul>		○	○	月別活動レポート
11			<ul style="list-style-type: none"> <li>選考プレゼン(各グループ)</li> <li>代表プレゼン(全校生徒)</li> </ul>		○	○	月別活動レポート
12			<ul style="list-style-type: none"> <li>※各班で協力を通して、学習成果を要約する。</li> </ul>		○	○	選考プレゼン・代表プレゼン
1	10. 課題研究発表	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表方法・表現方法を工夫する。</li> </ul>		○	○	学習成果レポート
評価方法	(1) 学習計画表・月別活動レポート (2) 学習成果レポートとプレゼンテーション						
	観 点	趣 旨					
評価の観点	1. 知識・技能	各分野において自らが設定したビジネスのテーマの内容に関する知識・技術の定着がしっかりできているか。					
	2. 思考・判断・表現	各分野において自らが設定した課題に対する 考察や的確な判断および他者への発表ができているか。					
	3. 主体的に学習に取り組む態度	各分野において計画的かつ積極的に調査研究や作品制作、職業資格に取り組んでいるか。グループで協力して課題に取り組んでいるか。					
評価基準	1. 知識・技能	A 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を十分に身に付けている。 B 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。 C 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けていない。					
	2. 思考・判断・表現	A ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的な能力を十分に身に付けている。 B ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的な能力を身に付けている。 C ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的な能力を身に付けていない。					
	3. 主体的に学習に取り組む態度	A 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的 かつ協働的に取り組む態度を十分に身に付けている。 B 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 C 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的 かつ協働的に取り組む態度を身に付けていない。					